

広報

しょうぼう さつま

119

Vol.35

令和4年7月発行

さつま町消防本部  
ホームページ

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉366

TEL 0996-52-0119

FAX 0996-53-0119



守りたいものがある



令和4年度  
全国統一防火標語

お出かけは  
マスク 戸締り  
火の用心

特集

地域を守る消防団

さつま町の安全安心は消防団なしでは語れない

# 特集

## 地域を守る消防団

さつま町の安全安心は消防団なしでは語れない

NO VOLUNTEER FIREFIGHTER NO SATSUMA SAFTY



消防団長 丸尾 省吾

21歳のときに入団し、消防団歴46年。取材の中では、各団員だけでなく、団員の職場や家族に対する感謝の想いを何度も口にされました。

「まずは自分の命を守る」これは、私が消防団員に常日頃かけている言葉です。災害はいつどのような形で発生するかかわからず、また災害時の活動は決して安全なものではないからこそ、自分の命を失うようなことは絶対にあってはなりません。

消防団活動は、自分だけではなく、家族の支えや勤務先など様々な人の理解と協力があってはじめて活動できます。例えば仕事中、災害招集のメールを受信したら、仕事の途中でも出動することになります。このような中、仕事を引き継いでくださる職場の方々が、消防団活動の意義を理解して、活動しやすい環境を作ってくださっていることに本当に感謝しております。

消防団員の活動は、火災はもとより、平成18年や令和3年の水害、台風警戒といった自然災害など、多様な災害に対する対応力が求められます。その地域を知る消防団が、国や町、消防本部等と連携することで初めて迅速な災害対応ができるのではないかと思います。

また、我々消防団と各地域に組織された自主防災組織が連携して、住民に声を掛け、地域の防災意識と結束を高めていくことが、今後の消防団が担う大きな課題だと思っております。

### 消防団員数 総員378名

(令和4年4月1日時点)



令和3年度中に火災現場で活動した消防団員数 延べ362名



令和3年7月豪雨に出動した消防団員 延べ332名



令和3年度中に普通救命講習を受講した団員 延べ43名

さつま町安全安心情報メールを登録すれば緊急情報が早くメールで届きます



さつま町ホームページでは気象情報や避難情報についてお知らせしています

防災マップはさつま町役場ホームページに掲載しています



また、災害時は、家族を家に残していくことに最初は不安がありました。後押しされ、家族の理解があつての活動であると改めて実感します。

また、災害時は、家族を家に残していくことに最初は不安がありました。後押しされ、家族の理解があつての活動であると改めて実感します。

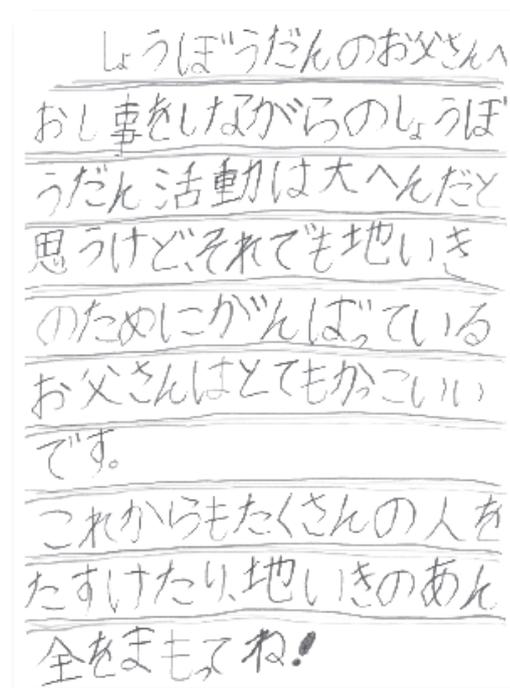
消防団には、地元の先輩からの誘いがあり3年前に入団しました。消防活動は家族の理解も必要であると思つたため、活動についての説明を消防団の先輩にいただきました。

入団してから、現在まで火災現場に出動したことはありませんが、今年の7月豪雨災害では、消防車で被害状況の確認や道路の土砂を撤去したり、住宅を一軒一軒回って避難を呼びかけたりしました。活動中、通つた道路を引き返すと、土砂が崩れ、通ることが出来ず、一歩間違えば自分たちも被害にあつていたのではないかと思つたことを覚えていません。

入団が「地域」を考えるきっかけに



手塚 三造 (神子分団3年目)  
 家庭では4人の子どもの育てる大黒柱  
 井川産業 (消防団協力事業所) で勤務



結空さんから消防団のお父さんへの手紙

手塚 結空 (鶴田小3年生)

休みの日にお父さんとドッジボールをして遊ぶのが好き。「消防団として災害に向かうお父さんはカッコいい！」とのこと



株式会社 井川産業

令和4年3月、総務省消防庁の消防団協力事業所として町内3カ所目に認定。職場には6人の消防団員が勤務する。(後列左から2人目は井川社長)



(株)井川産業  
 ホームページ

消防団員男女問わず募集中！！

- 1 入団資格
  - (1) さつま町内に居住又は勤務する方
  - (2) 年齢 18 歳以上の方
- 2 消防団員の身分  
 非常勤特別職の地方公務員
- 3 消防団員の処遇
  - (1) 条例に基づき、年報酬や費用弁償 (活動手当) が支給されます  
 出動報酬例: 水火災出動 1日あたり 8,000 円  
 年額報酬例: 団員 36,500 円 (階級による)
  - (2) 活動に必要な被服等を貸与します
  - (3) 公務災害補償、退職報奨金 (入団 5 年以上) 等の制度があります



※お問い合わせは消防団係 (TEL 52-0119) まで

# 消防×まつまびと vol.03

この連載では、消防とまつま町に関わる様々な人を紹介します。第3回目は幼年消防クラブ隊長として活動する保育園園長にインタビュー。

## 吉祥保育園幼年消防クラブ

吉祥保育園幼年消防クラブは昭和63年9月に結成され、年中・年長組の園児26名で防火思想普及のために活動しています。



### 永田 隆生 隊長（吉祥園保育所 園長）

吉祥園保育所年長組のみなさん

吉祥保育園幼年消防クラブは、結成以来34年間子ども達と共に防災活動に取り組んでいます。

月に1回の避難訓練や防火パレード、出初式での規律訓練で披露するなどイベントを通して子ども達だけでなく町内の防火思想の普及啓発に努めています。このような取り組みは、「聞く力・考える力・我慢する力」が身に付き、日頃の保育園の集団活動にも役立ちます。

平成9年に発生した「県北西部地震」は、自宅にいた子どもたちは、反射的に机の下に頭を隠して身を守ったという話を保護者から聞き、改めて訓練することの大切さを感じました。

また、幼年消防クラブでは毎年防火パレードを宮之城屋地・虎居地区の商店街で行っています。パレード中は商店街の方が店先に出てきて、一生懸命火の用心の歌を歌っている子どもたちを見て喜んでくださいます。子どもたちの姿が地域活性の一助になることを期待しております。

防火教育は最終的に「自分の命を守る」ことを身に付ける事であり、火災や自然災害の怖さを学び、命の大切さを知ってほしいと思っています。

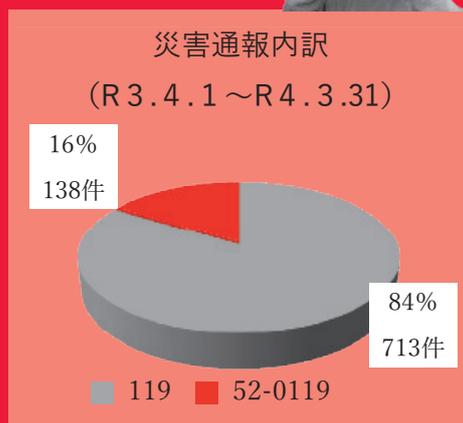
### まつまタイガーの一口メモ

### 119番通報は消防の災害スイッチ



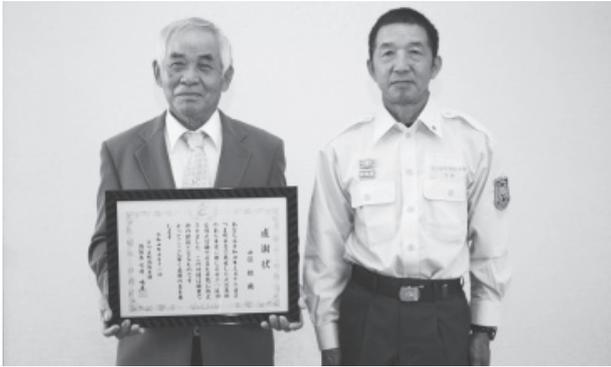
みんなが、消防に緊急の通報をする電話番号といえば、もちろん119番だね？令和3年度の災害通報内訳（右図）をよ〜く調べてみると119番通報ではなく、消防署の代表電話52-0119番に通報があった災害は、なんと138件もあるんだ！ビックリだガオーッ！！52-0119番に通報すると電話番号での位置情報の取得ができず、場所の特定に時間がかかることがあるのも要チェックだ！

119番通報は、位置情報の取得に加え、災害に1秒でも早く出動するためのスイッチでもある。消防車や救急車を必要とする場合は、迷わず119番通報を行ってほしいんだ。ガオーーーーー！！



## 初期消火協力者表彰

**警防** 火災を発見し、瞬時に的確な判断



3月16日、四位稔さんが狩猟のため求名地区周辺を車で走行中、竹林内に白炎が上がっているのを発見し、持っていたナタで枝を切り、叩き消しにより消火。四位さんは「付近に人の姿がなかったため、とっさの判断で叩き消しを行いました。小さな火がいつ火事になるか分からないので日頃の火の始末の大事さを改めて感じました」と当時の状況が話されました。

## 県消防職員意見発表会に出場

**総務** 亀山圭多消防士が奨励賞を受賞



亀山 圭多 消防士  
(鹿児島市出身)

4月8日、薩摩川内市で開催された鹿児島県消防職員意見発表会に、当消防本部代表として亀山消防士が出場しました。「消防と住民の垣根を越えて」と題し、過去の体験を基に、自身が目指す消防士像について発表を行いました。

## さつま町消防団の分団再編

**消防団** 再編により有事の際の人材充実が実現



さつま町消防団は、4月1日に分団の再編が行われ、「川原時吉分団（川原部・時吉部）」「きらら分団（白男川部・泊野部）」と4つの分団が2分団になりました。それぞれの部はこれまでと同様の活動区域を受け持ち車庫や車両も維持されますが、有事の際は同じ分団として活動し、災害時に人的投入の充実を図ることができます。

## 大規模災害対応訓練を実施

**警防** 水災害に備えた訓練を行いました



これからの季節、水に関する事故や災害が多く発生するシーズンを迎えることから、様々な災害に対応できるよう訓練を行いました。訓練では、大雨による土砂災害を想定し、生き埋めの要救助者を救出する訓練を行いました。

# さつま町消防本部にフォーカス FOCUS SATSUMA FIRE vol.03

消防本部について様々な視点から紹介するコーナーです。今回は、さつま町消防本部の職員採用試験と全国消防救助技術大会に出場を決めた職員について紹介します。

## 消防士を目指す皆様へ

当消防本部は、総員49名の職員で構成される超小規模消防本部です。例えば、119番通報を受信する通信勤務、そこで「火災」を受信すれば、自ら機関員（消防車両を運転する職員）として消防車を運転して現場に駆け付け、消火活動を行うこともあります。その後も、原因究明のための火災調査や予防業務になくはない避難訓練の指導、査察業務なども行います。いわば、消防職員にとって、町の安全安心を守るために、消防業務全てに携わることができるのは、とてもやりがいのあることです。

当消防本部では、平成28年に庁舎の一部改修工事を行い、女性用仮眠室を増設しました。採用試験情報は、ホームページなどでお知らせいたします。



職員採用試験情報

## 下築消防副士長 全国大会出場決定

5月27日に鹿児島県消防救助技術指導会が開催されました。当消防本部からは4名の選手が出場し、全員が入賞を果たしました。なお、下築消防副士長が、ロープブリッジ渡過の部で見事1位となり、県代表として8月に東京都で開催される全国消防救助技術大会に出場します。



下築 翔 消防副士長  
(永野出身)



## 集まれ! ちびっこ消防士



服部ファミリー (2歳)  
消防車に乗った瞬間の嬉し  
そうな顔にみんなホッコリ♪



福山ファミリー (2歳双子ちゃん)  
好きな消防車を目の前に後ずさり・・・  
今度は一緒に車の中に乗ろうね!

さつま町消防本部には、子供用の防火衣・救助服・救急服があります。  
あなたの可愛いお子さんもぜひ消防の服を着て写真を撮りませんか?  
お散歩がてら消防本部にいつでも遊びに来てください。  
予約は不要! 24時間! ?お待ちしております!!



### ピクニックマーケット IN 北薩広域公園

たくさん子どもたちにたくさんの癒しをもらった一日でした。

出動が重なってしまい、大きい車のタンク車は途中でいなくなりましたが、「将来の夢は?」の質問をすると「・・・消防士」と気を使ってくれる子もいたり・・・子どもたちの将来の夢になれるようカッコいい消防士を目指してがんばります!!

町公式SNS

Facebook



Instagram



LINE



Youtube



消防本部では、町公式SNSやホームページ「ほっと写真館」のコーナーで日頃の様子を写真などで公開しております。